

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年12月15日

計画の名称	小野市における水環境の整備(2)(防災・安全)(重点計画)												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	小野市												
計画の目標	集中豪雨の多発に対し総合的な浸水対策を実施することにより、水害に強い都市を作る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	763	A	763	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R4末)
1	下水道による都市浸水対策の達成率を46%(H30)から52%(R4)に増加。 下水道による都市浸水達成率(%) 概ね10年に1回程度発生する規模の雨量に対して安全である区域の面積(ha)/(都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha))(585ha)	46%	48%	52%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠(雨水)	新設	第5排水区(雨水管2)	450×500~600×600 L=20 0m	小野市						30	-	
	A07-002	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠(雨水)	新設	第3排水区(雨水管3)	900×900~600×600 L=34 0m	小野市						70	-	
	A07-003	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠(雨水)	新設	第12-2排水区(雨水管4)	600~1,100 L=619m 90 0×600~1,300×1,300 L=32 0m	小野市						90	-	
	A07-004	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠(雨水)	新設	第10排水区(雨水管5)	U500×500 L=500m	小野市						35	-	
	A07-005	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠(雨水)	新設	第11排水区(雨水管6)	600×600~800×800 L=32 0m	小野市						120	-	
	A07-006	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠(雨水)	新設	第20排水区(雨水管7)	雨水管 350~1,100 L= 2,000m U1,100×1,100 L=1 00m	小野市						408	-	

A 基幹事業

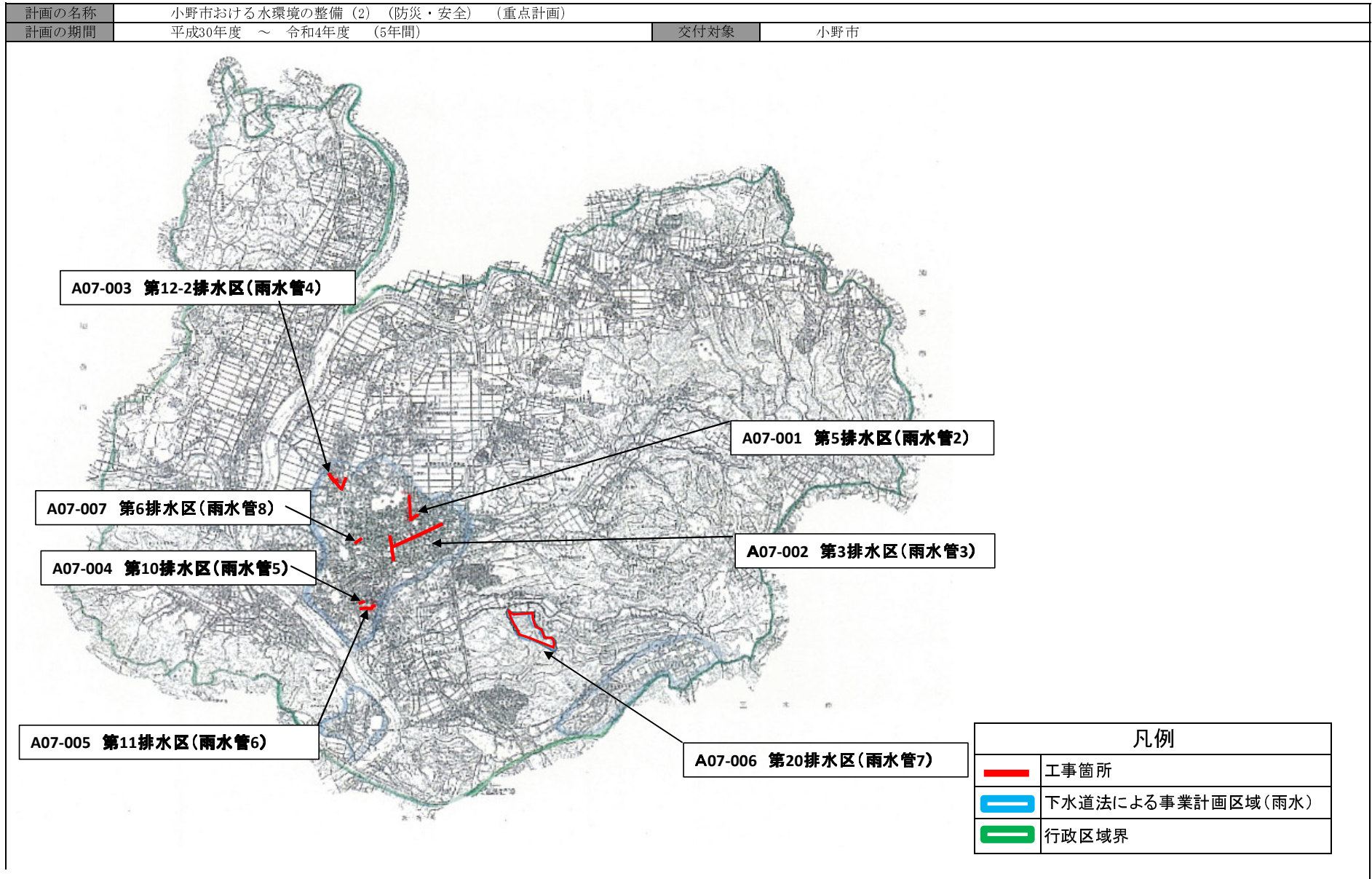
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	小野市	直接	小野市	管渠(雨水)	新設	第6排水区(雨水管8)	雨水管 450 L=44m	小野市						10	-	
											小計						763		
											合計						763		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

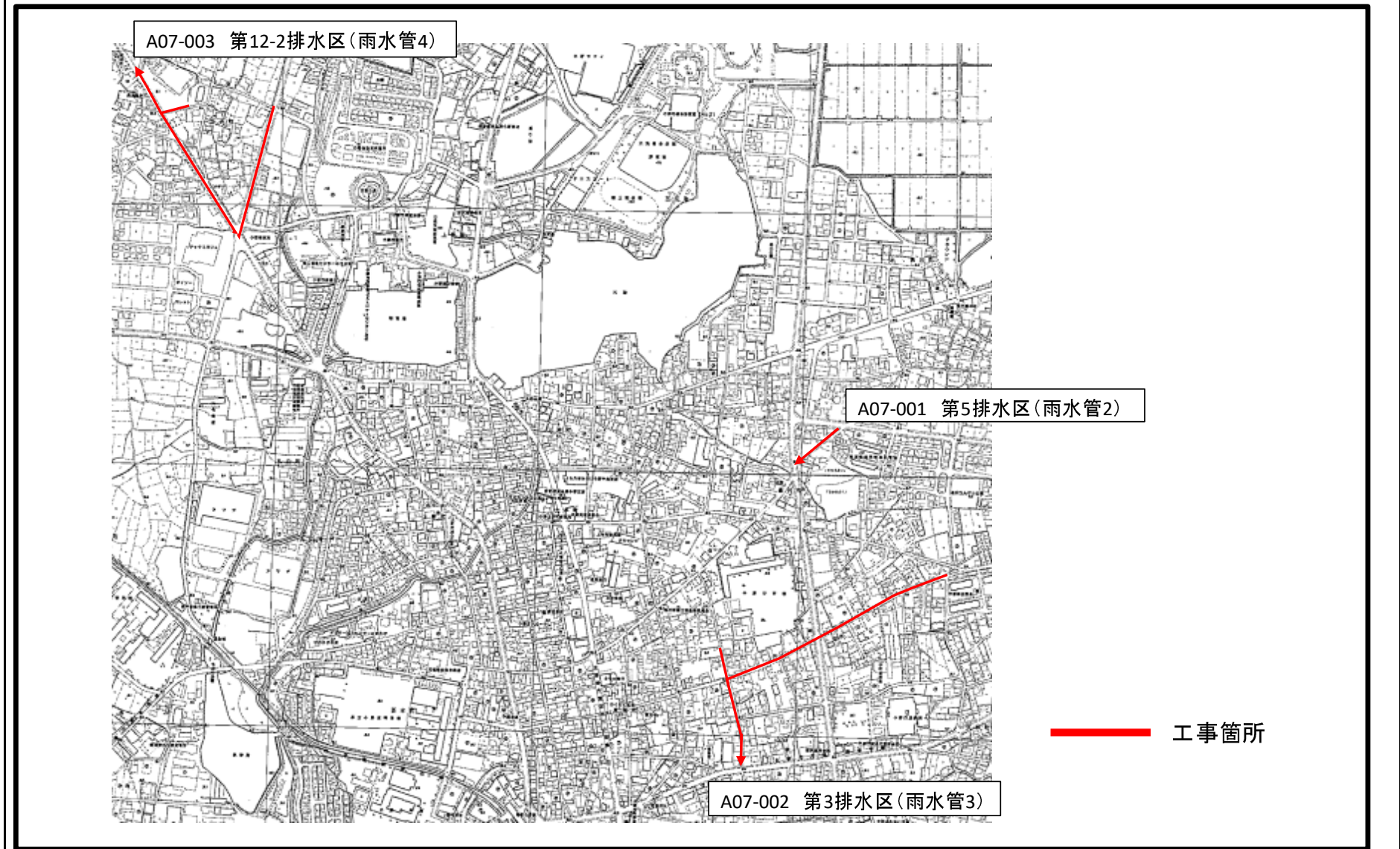
	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	15	136	126	0	
計画別流用増 減額 (b)	0	21	0	0	
交付額 (c=a+b)	15	157	126	0	
前年度からの繰越額 (d)	0	12	132	125	
支払済額 (e)	3	37	133	125	
翌年度繰越額 (f)	12	132	125	0	
うち未契約繰越額(g)	0	50	18	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	29.58	6.97	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		追加補正予算の交付が年度末であったため			

(参考図面) (社会資本整備総合交付金 (防災・安全))



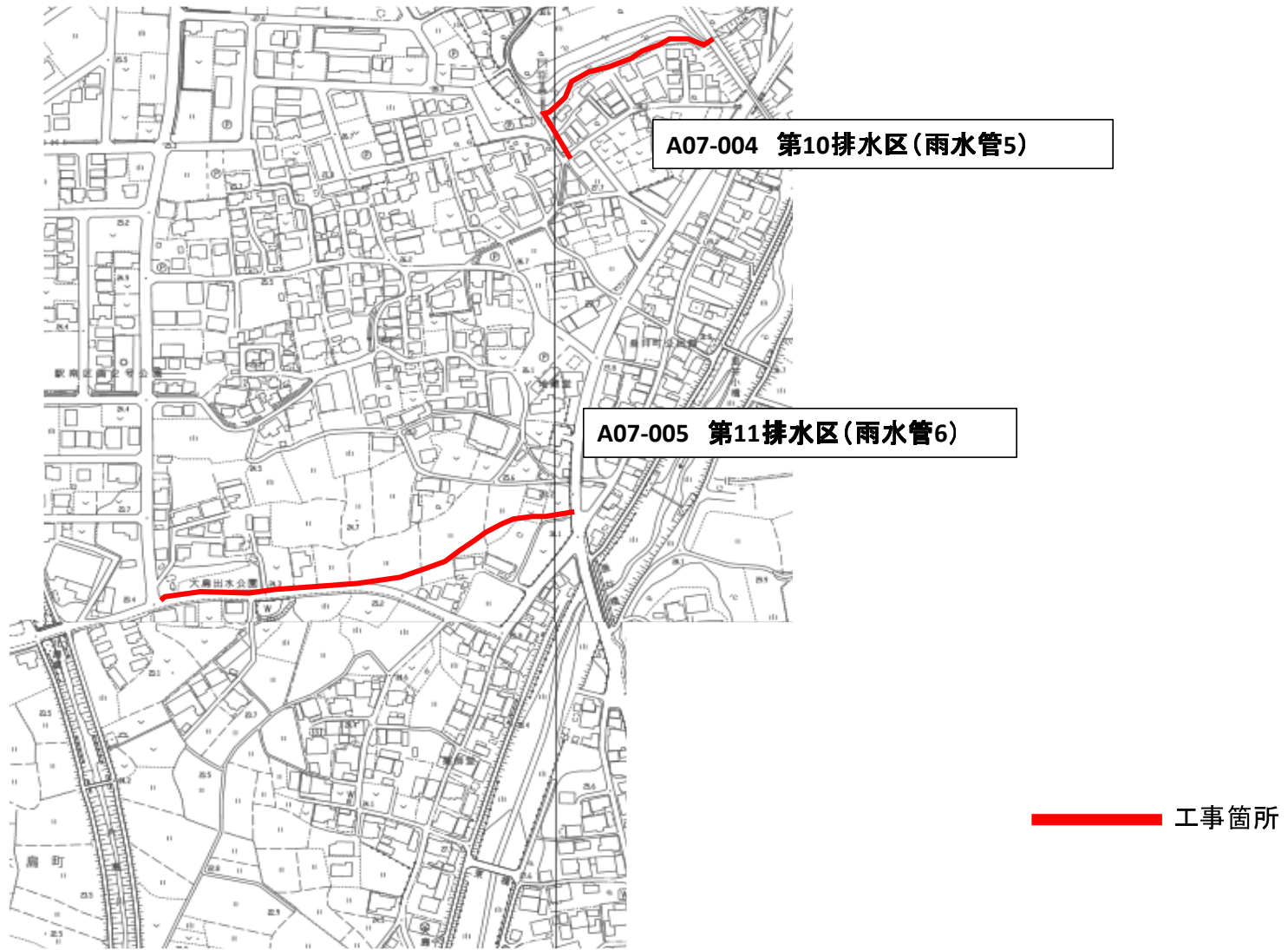
(参考図面) (社会資本整備総合交付金 (防災・安全))

計画の名称	小野市における水環境の整備 (2) (防災・安全) (重点計画)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	小野市



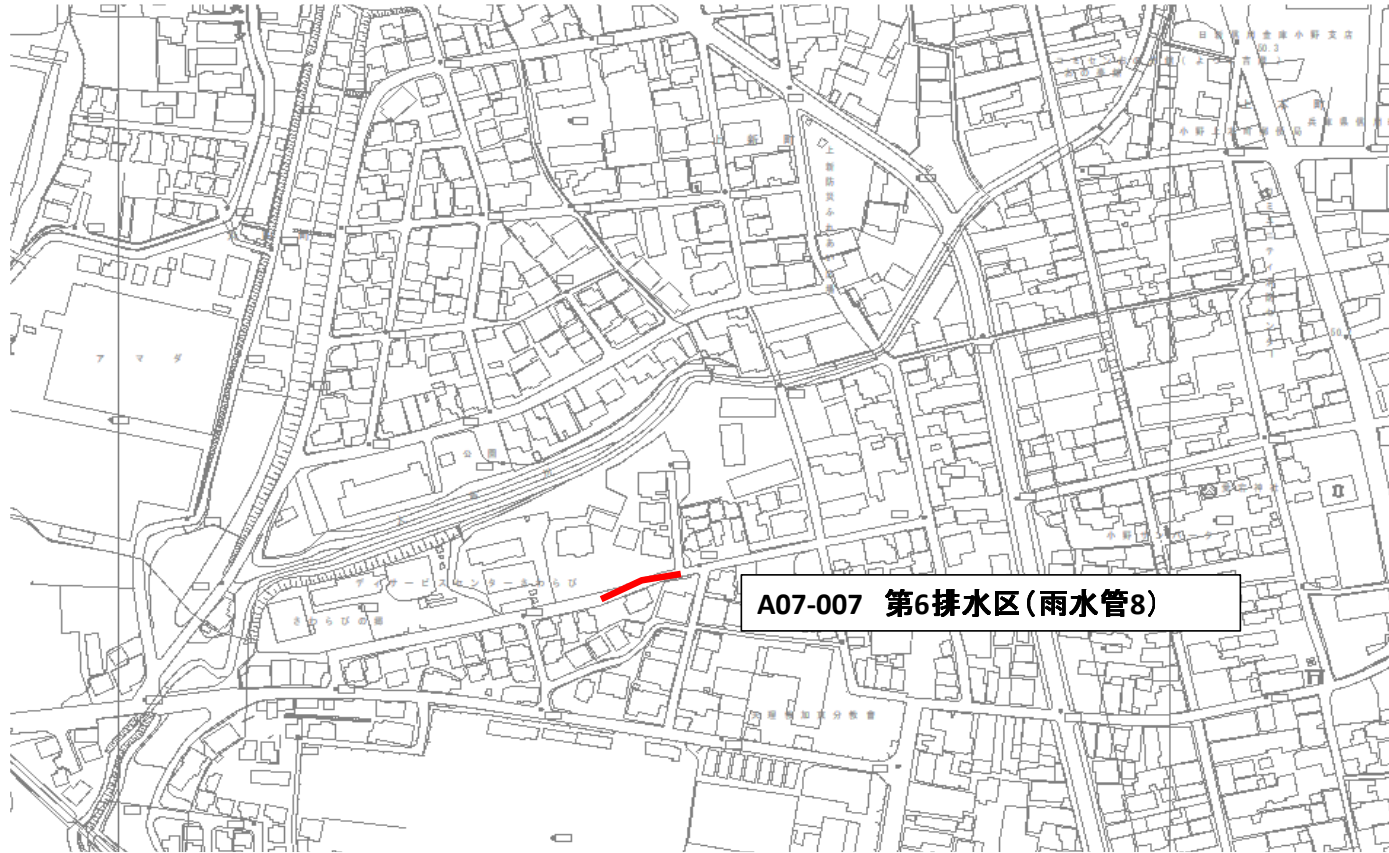
(参考図面) (社会資本整備総合交付金 (防災・安全))

計画の名称	小野市における水環境の整備 (2) (防災・安全) (重点計画)	交付対象	小野市
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)		



(参考図面) (社会資本整備総合交付金 (防災・安全))

計画の名称	小野市における水環境の整備 (2) (防災・安全) (重点計画)	交付対象	小野市
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)		



 工事箇所

事前評価チェックシート

計画の名称： 小野市における水環境の整備（２）（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 上位計画（総合計画、生活排水処理計画、都市計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 下水道の諸計画（合流式下水道緊急改善計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 3) 関連する諸計画（河川整備計画等）と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえて目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) 必要性という観点から事業内容、整備箇所の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と定量的指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 目標及び事業内容と計画区域等との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関連する関係機関等の調整が、図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 1) 事業実施に向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運 2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○